



新しいさいたま市を
共に創造しましょう！

さいたま市長 清水勇人

令和2年度予算のポイント

3大事業を クローズアップ

令和2年度には、新たなさいたま市の創造に向けてさまざまな事業が動き出します。
市が1年間に行うたくさんの事業のなかから、特徴的な3つの事業を紹介します。

■ 防災・減災対策事業

真に災害に強いまちを目指して ハードとソフトの両面から強化

防災・減災対策の強化

➔ 42億2,591万円 [20.5%拡大]

昨年の台風第19号では、これまでに経験したことのない大雨により油面川流域が広く被害を受けたため、排水機場の整備を前倒しで実施することで、安全性を高めます。新規事業としては、①携帯電話を所有していない高齢者等を対象に電話やファクスで防災情報を届けるサービスの提供、②洪水浸水想定区域図等の見直しを踏まえた洪水ハザードマップの作成、③地域防災計画の改定——などを計画。ハードとソフトの両面から防災と減災への取り組みを強化していきます。

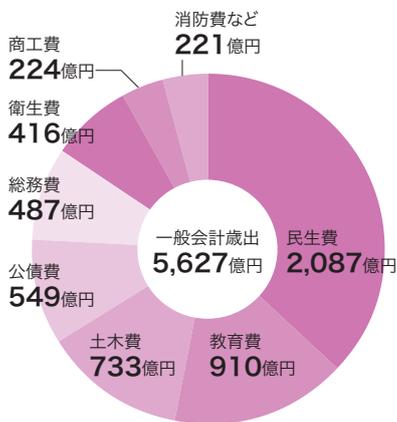


令和元年台風第19号の被害状況

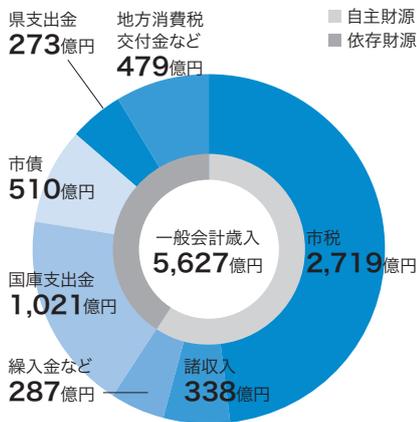
実際の予算

さいたま市のお金の使い方

教育や福祉、消防など市の基本的な行政サービスを提供するために計上する一般会計。令和2年度当初予算では5,627億円と、前年度と比べて59億円増加しました。施設整備が進んだことで、建設事業費が減ったものの、社会保障関係の経費が増えたことで、全体としては増加します。また、防災・減災対策事業などで迅速で切れ目のない対応をするために、令和元年度12月補正予算から始まる16か月の切れ目のない予算としました。



令和2年度 歳出（目的別）の内訳



令和2年度 歳入の内訳

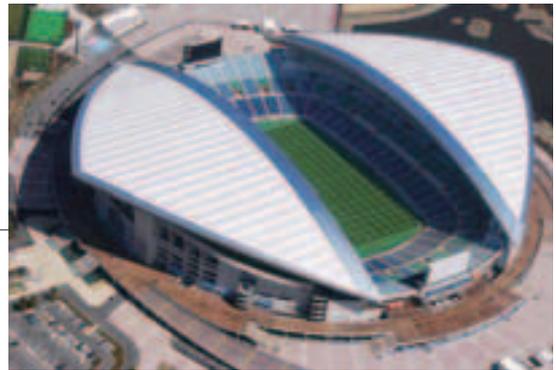
東京 2020 大会に向けた事業

東京2020大会開催を好機とした 更なる成長

本市の取組や魅力を国内外に発信

➔ 6億8,900万円 [1238.9%拡大]

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会では、市内でサッカーとバスケットボール競技が開催されるため、来訪者向けの暑さ対策や回遊バスの運行、大勢で試合を観戦できるパブリックビューイングなどを計画。会場周辺や主要駅の装飾などにより、開催に向けた気運を盛り上げていきます。さいたま市の魅力を発信する絶好の機会でもあるため、盆栽等の伝統産業や氷川参道等の地域資源を活用したイベントを開催します。



サッカーの会場となる埼玉スタジアム2002



バスケットボールの会場となるさいたまスーパーアリーナ

「スマートシティ」の取組

持続可能な成長・発展に向けて

「スマートシティ」の取組の加速化

➔ 3億4,843万円 [27.2%拡大]

「スマートシティ」とは、環境やエネルギー、人口問題など都市が抱える課題を先端技術を活用して解決する取り組みのこと。さいたま市では、浦和美園地区を中心に「スマートシティさいたまモデル」の構築を進めるほか、ICTによって複数の交通手段を上手に組み合わせる使いこなせる次世代型移動サービス「MaaS」などの導入に向けた検討を始めます。このほか、太陽光パネルや蓄電池などを設置して、災害時でもエネルギーの供給が滞ることがない「ハイパーエネルギーステーション」を美園小学校に整備します。



スマートシティさいたまモデルの一例（電線を埋設し、災害時に電気を融通し合う街区）

one point
予算はどうやって決めるの？

10月頃

各担当部局で、市民の意見や地域の状況などを踏まえ、どんな行政サービスを行うか検討したうえで、予算を見積もる

1月頃

市長が事業の緊急性や優先順位などを検討し、予算案をまとめる

2～3月頃

議会での審議と決議を経て、予算が決まる

全会計合計	1兆58億円
一般会計	5,627億円
教育、福祉、医療や道路・公園の整備など、市の基本的なサービスを行うための会計	
特別会計	3,167億円
国民健康保険や介護保険など、一般会計とは区別される事業の会計	
企業会計	1,264億円
事業の収益で運営している水道、病院、下水道の会計	

さいたま市の懐事情は安心？

平成30年度決算では、法律で定められた地方公共団体の財政状況をチェックする基準をすべてクリアしており、財政は健全だといえます。

- 民生費…生活保護や障害者・高齢者の福祉サービス、子育て支援、保育所などに掛かる経費
- 教育費…学校教育、生涯学習の充実などに掛かる経費
- 土木費…道路、河川、公園などの社会資本基盤等の整備や維持・管理に掛かる経費
- 公債費…借りたお金（市債）の返済に掛かる経費
- 総務費…庁舎や財産の維持管理、税金の徴収、選挙などに掛かる経費
- 衛生費…健康増進、疾病予防、環境保全、ごみ処理などに掛かる経費
- 商工費…商工業、農業、観光の振興などに掛かる経費
- 消防費…消防活動や火災予防などに掛かる経費

業もクローズアップ

続いては、令和2年度に新たに行う事業や、拡大して行う事業を一部紹介します。自分や自分の身近な人の立場で、各事業がどんな未来の風景につながるか、想像してみてください。

環境・アメニティ

拡大

廃棄物処理施設の 安定的な稼働に向けて

サーマルエネルギーセンターの整備

➔1億8,002万円 [15.4%拡大]

適正・安全かつ安定して一般廃棄物の処理を行うため、西部環境センターと東部環境センターを統廃合し、新施設を整備します。



サーマルエネルギーセンター完成イメージ

健康・福祉

拡大

高齢者の介護予防や 健康増進の充実

シルバーポイントやアクティブチケットの利用促進

➔1億3,192万円 [13.2%拡大]

高齢者の生きがいづくりや社会参加などのため、ボランティアや健康づくり等の活動を支援します。

健康・福祉

新規

安心して子育てできる 環境の整備

新生児聴覚検査助成事業の創設

➔3,130万円

保護者の経済的負担の軽減と聴覚障害の早期発見・早期療育を図るため、検査費用の一部を助成する事業を新たに開始します。



拡大

放課後児童クラブにおける 待機児童の解消に向けて

児童の受入規模の拡大・支援員の処遇改善

➔33億3,751万円 [6.2%拡大]

児童の受入規模を拡大するとともに、人材の確保と質の向上を図るため、民設放課後児童クラブの支援員の処遇改善を実施します。

健康・福祉

新規

出産後間もない時期の 産婦等に対する支援を強化

宿泊型・デイサービス型の産後ケア事業の創設

➔4,873万円

産婦健康診査を実施するとともに、既存の訪問型に加えて、新たに宿泊型・デイサービス（日帰り）型産後ケア事業を開始します。

拡大

待機児童数ゼロを目指して

保育所整備に係る補助金を拡充

➔57億4,579万円 [85.6%拡大]

待機児童の解消に向け、賃貸物件を活用した認可保育所整備に係る補助金を拡充し、更なる保育所等の施設整備を推進します。

担当者の声

更なる保育所の整備を行うことで、皆さんがより一層働きながら子育てしやすい環境の実現を目指していきます。

のびのび安心子育て課

教育・文化・スポーツ

新規

東京2020大会 文化プログラム事業の開催

歌舞伎公演等による日本の伝統文化発信

➔1億8,547万円

「さいたま国際芸術祭2020」を開催するとともに、国内外へ日本の伝統文化の魅力発信するために歌舞伎公演等を新たに開催します。

拡大

Society 5.0※時代を生きる 子どもたちの学びのために

ICTを活用したアクティブ・ラーニングの推進

➔3億306万円 [174.8%拡大]

教育の情報化を推進し、確かな学力を育成するとともに、中学校21校と小学校35校にタブレット型コンピュータ等を整備します。



※Society5.0…狩猟社会、農耕社会、工業社会、情報社会に続く、第5の社会で、仮想空間と現実空間の高度な融合により、

※新型コロナウイルスの影響により、中止や内容を変更する場合があります。詳しくは、市ホームページ又は各問合せへ。



詳しくは、市ホームページを
ご覧ください。

主な新規・拡大事

都市基盤・交通

拡大

東日本の対流拠点にふさわしい 都市機能の充実・強化

大宮駅グランドセントラルステーション化
構想の推進

▶ 1億4,644万円 [6.8%拡大]

交通基盤整備、駅周辺のまちづくり、駅機能の
高度化を一体的に推進し、東日本の玄関口であ
る大宮とさいたま市の存在感向上を目指します。



大宮駅前のイメージ例(案)

担当者の声

この構想が実現すれば、交
通の結節点である大宮駅が
より便利になり、周辺の開発
も進み、災害に強いまちにな
ります。また、来訪者によっ
てまちが賑わい、地域経済も
活性化されます。

東日本交流拠点整備課

産業・経済

拡大

海外市場への販路開拓を促進

国際技術交流推進事業

▶ 3,537万円 [33.4%拡大]

欧州の企業群との技術交流や海外展示会で中
小企業の国際展開を推進するとともに、産学
連携による技術力向上を支援します。

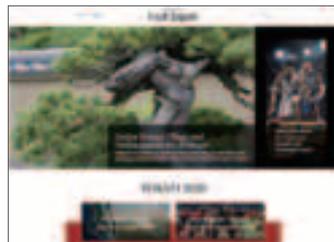
拡大

東日本地域への 観光客誘客に向けて

東日本連携自治体と共同で誘客キャンペーン等の実施

▶ 3,019万円 [22.7%拡大]

東京2020大会の開催を契機に、本市をはじめ
とする東日本地域への観光客誘致を促進する
ため、共同でプロモーション等を実施します。



東日本プロモーションWEBサイト

一度は読みたい!

さいたま市の予算をわかりやすくまとめ
た資料を毎年ウェブで公開中! 過去の予
算もわかります



安全・生活基盤

新規

安全で楽しく遊べる公園づくり

公園遊具の安全性の向上

▶ 1億9,409万円

子どもにとって安全で楽しい遊び場を確保す
るため、公園遊具の安全性向上を図る修繕や
更新等の対策を実施します。



交流・コミュニティ

拡大

地域の絆を育む

自治会運営及び情報発信の支援

▶ 2億8,473万円 [0.1%拡大]

自治会と自治会連合会の運営経費を補助すると
ともに、自治会の情報発信を強化するために市
自治会連合会のホームページ作成を支援します。

高品質経営プログラム

拡大

ICTによる業務の効率化

ICTを活用した働き方改革の推進

▶ 1,913万円 [122.6%拡大]

庁内会議等でのテレビ会議導入や、税部門を
中心に業務の自動化の拡大とモバイルワーク
端末の試行利用を実施します。

今月の表紙

たくさんの
事業が集まって
さいたまの景色や
暮らしは豊かに
形づくられていきます!